

R6第1回まちづくり・人づくり委員会を開催 (R6.11.15)

第1回目のまちづくり・人づくり委員会を開催しました。

この、まちづくり・人づくりのテーマは活動の内容や委員の選定を考えるのに時間がかかり、委員会の開催が遅れてしまいました。

この委員会は、5年後に目指す姿が、人のつながりを大切にし、活気あるまち

づくりを目標として進めて行きたいと考えています。

事務局としては、今までと違った組織を編成することで、地域の皆さんが住民の絆を深め、住民のつながりを強くして「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりを目指して進めて行きたいと考えています。

委員の構成

- 区の会計(おやじの会やPTAでの活動経験が豊富)
- 東地区スポーツ推進委員(おやじの会の責任者の経験が豊富)
- 小学校 PTCA 活動連絡会議、ランドセルクラブなどに従事
- 大野城市にぎわいづくり協議会
- イオン乙金区店長
- 東パートナーシップ支援センター
- 東地区行政センター
- 運営協議会会長、副会長、事務局

今回のテーマ

第2次まちづくり計画の5年後のビジョン

Plan 4 ～まちづくり・人づくり～

“人のつながり”を大切に、誰もが住みよく活気あるまちづくり

(1) 人のつながり促進事業

(2) 地域資源活用事業

(3) 未来の東コミ活性化事業



今回は、初回なので、参加された皆さんから、まちづくり・人づくりについて意見交換を行う「自由討議」を行いました。

始める前に、第2次「東コミまちづくり計画」で提議されていることについて復習を行い、委員の意見交換等を行いました。

- ◎北小で、防災体験があつて参加した。災害の時の炊き出し訓練や避難所体験があつた。まちづくりや防災も含めて、このような取組を考えることもいいのでは？ただ、催しを実施することが目的ではなく、これを手伝ってくれる親などの参加をどの様に促すか、繋げるかが問題
- ◎子供会でキャンプをするとお母さんたちから嫌がられる。そこで、公民館を使って、お父さんたちにも手伝ってもらいながら行っている。いろいろなことをやるのが、人との繋がりになる。バスハイクでも、毎年おなじ目的地、やることも一緒ではなく常に参加者が集まるような見直しを行い、面白いことをやれば皆が集まる。このような取り組みをしたい。以前は、子供会のつながりがあつたが、現在は子供会自体が弱体化している。皆さんの意見が聞ければいいと思う。
- ◎人を集めるためにイベントが必要ではなく、子供たちが参加して一緒に考えることが必要では？ 大東中で、中学生と話したがみんな色々な考えを持っている。中学生・高校生・大学生の参加が必要では？ 人を集めるための仕掛けは必要だが、働いている親など若い人たちの参加は難しい。それをどう集めるのかが問題！
- ◎子供たちが参加したいと思うような仕掛けがあれば、親たちも参加してくれる。

しかし、今は 30 代、40 代の人が集まってこない。なぜ集まってこないのか？

◎今話しているのは、小学生を対象としたものかなと思うが、これだと中学生や高校生は参加しないのでは？ いろいろな年代をターゲットにして集客するとなると難しいと思う。今回は、小学生あたりをターゲットにした取り組みなどを考えてみては？

◎子供が参加して、それに親がついてくる考えに同感する。ファミリー層をターゲットとしたイベントが良いのでは？ イオンを会場として使用していいし、我々は地域との活動に協力したい。今後、警察や消防とも協力してイベントを予定している。

◎地域資源として、イオン乙金の活用が考えられる。

◎地域資源の活用で、総合体育館のキャンプ場が新たに新設されるので活用したり、浄水場の見学会などを行ったりしては？

◎パトロール隊の結成で、パトロールするのもまちづくりになるのでは？

◎子供会や育成会の活動で、なかなか参加してもらえなくなっている。ただ、話がうまく進むと、活動がうまくいくことがある。今までと違った取り組みを考える必要があるのでは？

◎企画から子供たちに参加してもらうことで活性化するのは？

◎音楽フェスなどを行うと若者など多くの人が集まるのでは？いろいろなジャンルを考える必要がある。

まちづくり・人づくりに対して、皆さんと多くの意見交換が出来ました。

人をどの様に集めるのか、またそれに対してどのように担ってもらうかを、今後皆さんと協議していきます。

※次回の委員会は、新年度に入って行います。1から 2 ヶ月後くらいを予定しています。決まり次第お知らせします。

